

総括質疑

〔政和会〕

高橋 克己 委員



■ビジネス支援センター事業について

**質疑** 相談者の売り上げ向上総額が1億7千8百万とあるが、最高額、最低額について伺う。

**答弁** この額は開設当初からの総額で、最高額8千万、最低額3千円となっている。

**質疑** 相談者の中で新規雇用があった企業数と人数について伺う。

**答弁** 2社から合計4名の雇用があったことが報告されている。

**質疑** 相談者の事業決算書の確認はされているのか伺う。

**答弁** 行っていない。

**質疑** 昨年度作成した事業評価レポートと同様の形式で今後も評価を行っていくのか伺う。

**答弁** 基礎的な部分として同様の

形式で行っていく予定である。

**質疑** 事業評価レポートは文章が多く、抽象的な内容が大部分を占める。大変評価しにくい、対処策はあるのか伺う。

**答弁** できるだけ数値化し、経営評価を行い相談実績、リピート率、満足度等によるニーズ評価、連携する商工、金融機関からの意見把握を行い総合的に判断する必要があると考える。

**質疑** 評価を見える化できるように、点数制度など合計点で判断できる分かりやすい仕組み作りが必要と考えるが見解を伺う。

**答弁** 評価の見える化は、市民の方々にこうした事業を行っているということをオープンにする重要なことであり、早急に着手し議会に提示したい。

■有害鳥獣対策事業について

**質疑** 昨年度の被害状況について伺う。

**答弁** 熊、イノシシ、カラス類による農業被害は、面積26・35ha（実損面積2・65ha）被害額144万6千円となっている。

**質疑** 熊、イノシシの捕獲頭数に

ついて伺う。

**答弁** 熊は有害駆除のみで9頭、イノシシは有害駆除1頭、狩猟捕獲15頭で計16頭となっている。

**質疑** 耕作放棄地などが増え、山と住宅地がつながり市内でも熊の出没が後を絶たない。対策は考えているのか伺う。

**答弁** 熊と遭遇しないために、ラジオを鳴らすなど、人間がいるというアピールをする事が大事と考える。

**質疑** 放射能の問題で県ではジビエの解禁をしていない。8月17日魁新聞紙上に国ではジビエの振興を推進していく内容が記載されていた。この件について確認しているか伺う。

**答弁** 内容は確認しているが、県から正式に通知などは来ていない。

**質疑** ジビエの解禁について早急に対応を県に要請するべきと考えるが見解を伺う。

**答弁** 解禁の障害となるセシウムへの対策は長期の対応が必要であり、当面、解除は期待できないと考える。

〔湯沢政策研究会〕

藤田 健志 委員



■地域医療確保対策事業について

**質疑** 現在の湯沢雄勝医療圏における医師数と今後の目標数を伺う。

**答弁** 現在、医療施設においては、74人であり、目標数は83人である。

**質疑** 医師や医療従事者不足を解消するための方策を伺う。

**答弁** 医師会との意見交換の場である「医療行政懇談会」での意見より、10代に対して、医療業務の魅力を知ってもらう工夫を検討していく。

**質疑** 公的医療施設整備補助金の内容について伺う。

**答弁** 血管造影X線診断装置の更新事業への補助である。

**質疑** 約8900万円の補助を行い、高度医療機器を導入した成果を伺う。

**答弁** 他の病院へ搬送せずに、雄勝中央病院での緊急処置等が可能な患者が増加し、地域医療の高度化が図られている。